議事録

2025.9.10 記 高田

神奈川県剣道連盟 第6回幹部会議

日 時：令和7年9月4日（木） 12：55～15：40

場 所：神奈川県立武道館

出 席：野見山会長、佐藤副会長、吉村副会長、小山副会長、松原副会長、飛知和副会長、上野副会長
高野副会長、伊藤専務理事

事務局：中島事務局長、高田副事務局長

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 題

【協議事項】

(1) 神奈川県剣道連盟 剣道優秀選手賞表彰について

- ・規定に基づき、全国中学校剣道大会の女子団体が優勝した潮田中学校を表彰することが承認。
- ・第5条の規定に基づき、賞状とお祝い金を贈る。

(2) 神奈川県スポーツ功労者表彰候補者の推薦について 資料 1

- ・今回は推薦なしとする。

(3) ハラスメントについて注意喚起、意思統一。

(4) 剣道研究会関連

1) アンケートについて 資料 2

〈飛知和副会長〉

資料2の4ページでは、支部剣道連盟へのアンケートが実施されます。このアンケートの目的は、①小学生剣士（1級取得済みの6年生）の現状調査、②「中学校部活動の地域展開（移行）後の希望者にとって望ましい形態」の検討、および剣道団体や支部剣道連盟の地域クラブとしての受け皿の可能性調査です。

支部剣道連盟へのアンケートはExcelシートで、中学校剣道部顧問へのアンケートはGoogleフォーム（QRコード）を用いて実施します。

アンケート内容は、支部剣道連盟向けには（1）各支部剣道連盟の状況、（2）小学6年生の剣道継続状況、（3）中学進学時に剣道から離れた理由、（4）部活動地域展開（移行）後の受け皿の可能性についてです。スポーツ庁の方針では、平成10年度までに中学校の休日部活動の地域展開化、平成13年度までに平日も含めて地域展開を目指すことが示されています。アンケートを通じて各支部の実態を把握し、まとめることによって今後の参考資料とする予定です。

中学校剣道部顧問へのアンケートの目的は、①中学校剣道部の現状調査、②指導体制の現状調査、③顧問の今後の部活動に関する意識調査です。アンケート内容は（1）剣道部の現状調査（A）活動状況・理由、（B）部員の状況、（C）指導体制、（D）通常業務との兼ね合い、（E）剣道経験の有無、（F）部活動指導員・外部指導員の採用経緯、（2）今後の部活動について（A）方向性・理由、（3）今後の

部活動指導について (A) 休日部活動指導の希望、(B) 平日部活動指導の希望、(4) 地域展開 (移行) について (A) 従来通りの活動継続の是非、(B) 平日のみ部活動を継続し週末は地域移行する案、(C) 教員の基本業務から部活動指導を除き全て地域移行する案、(D) 地域クラブへの移行後に指導員として活動を継続するか否か、となっています。

〈野見山会長〉

このアンケートに関して、中学校の場合は、教員が直接メールで回答できるため集計も比較的容易ですが、支部については負担が大きいと考えられます。多くの支部では専用の事務所がなく、役員が個々の自宅で業務を分担している状況です。その結果、各支部が本部との間で情報や作業のやり取りをする際には、相応の労力が必要となります。例えば、ある支部の活動を例にとると、その下部の支部の教員が手伝いに加わる場合など、本部がすべての状況を把握しているとは限りません。このような事情から、「対応可能」と即答することが難しいケースが想定され、曖昧な返答が多くなる可能性があります。

特に、平日の部活動が地域展開された場合に「受け皿になり得るか」という設問には、責任のある回答が求められます。体育館や専用施設の利用可否次第では、活動の継続や時間帯の調整も影響を受けます。剣道人口や中体連の教員との連携状況によっては、明確な回答を出すのが困難な場合も想定されます。そのため、アンケートの内容によっては、十分な準備や調整がなされなければ、実施が見送られる可能性もあります。

また、近年では部活動の廃止や外部クラブでの活動を推奨する動きが広がっています。柔道のように、学校での部活動が減少し、市中の道場がその競技を支える例もあります。日本の学校教育において、部活動は知育・徳育・体育のバランスを取る伝統的な役割を果たしてきました。部活動が縮小すると、該当する生徒の参加機会が減少し、学外活動への移行が進むとみられます。中学時代は児童から生徒へ、そして大人になる過程の重要な時期であり、一貫した部活動の流れが維持されることは教育上有益とされています。

今後、剣道部の地域活動が安定的に継続できれば、他の部活動にも波及効果が期待され、中学校の部活動全体の存続につながる可能性があります。こうした基本的な課題について十分な理解と検討が求められます。

〈伊藤専務理事〉

このアンケート調査についてですが、実施する以上は回収率 100 パーセントを目指す必要があります。これは、支部が部活動の地域展開や剣道人口の減少問題について十分な認識を持っているかどうかを確認するためです。アンケート結果を各支部で集計し、それをもとに議論を行うことで、支部ごとの対応策の検討が求められます。ただ単にアンケート結果を提出するだけでなく、各支部が今後の役割や課題について考察し、次の施策へつなげることが望まれます。

さらに、このアンケート調査が全数回収できれば、学術研究としても利用価値が高くなる可能性があります。例えば卒業論文のテーマにもなり得る内容であり、部活動指導を目指す学生などにとって有意義な課題となります。実際に、海老名市では 6 校中 4 校が剣道部を設置しており、多い時には 70 人の部員を抱えていた学校もあります (現在も 40 名程度)。その一方、厚木市では該当する中学校が存在しません。また、近隣の港南区等においても剣道部設置校が減少し、地区大会の開催が困難になるケースが報告されています。このような状況を受けて、支部レベルでの問題意識と議論の活性化が重要です。

アンケート調査は回収率の最大化に努めるとともに、支部内で内容を十分に検討し、具体的な対応案をまとめて報告することが推奨されます。そのような取り組みを通じて、本課題に対する効果的な議論と解決策の検討が期待されます。

〈高野副会長〉

現在、支部では人口減少について議論していますが、金沢区内の剣友会を含めて会員数が減少傾向にあります。高野道場も例外ではなく、徐々に人数が減っています。また、中学校の剣道部でも同様の現象が起こっており、いくつかの部活動が消滅するケースも見られます。支部としては、この状況への具体的な解決策はまだ見出せていません。

現時点では、保護者を通じて勧誘を行うことが有効な方法と考えられており、多くの支部でも少しずつ子どもの参加者を増やす努力をしています。ただし、中学校以降で協力体制をどのように確立するか、今後の方針が明確になっていない部分もあり、その議論が進みにくい状況です。中体連のためにどのような動きを取るべきか、現時点では十分な方向性が定まっていません。

〈野見山会長〉

今回の提案は次回の剣道研究会で出す予定です。たまご・ひよこ杯や合同稽古などは、中学校に部活があることを前提としたモチベーション向上策ですが、根本解決ではなく、剣道への理解や継続を促すためのものです。

小学校から中学校へ進学するとクラブ活動が選択肢となり、新しい友達や先生と活動できる点が魅力ですが、そこに先生が十分に関われなくなるという課題があります。その補完方法や場所の確保について、具体的な対策を検討する必要があります。

父兄には部活動存続の訴えを学校にしてもらい、同時に県剣道連盟の支部が協力できる体制を作ることが重要です。支援のための時間調整や交渉も必要で、誰が主導するかも明確にするべきです。県レベルでは対応に限界があるため、市町村単位での取り組みが求められます。

例えば、支部には教育長と話し合い、部活動の意義を訴えてほしいと思います。また、部活存続を願う保護者による働きかけや、支部によるサポート体制、費用面の配慮など、具体的な行動計画が大切です。

モデル事業として早急に具体策を立てなければ、間に合わない状況です。次回の理事会・剣道研究会では内容を詳しく説明し、質疑応答を通して現場ごとの実践につなげたいです。また、新聞等の協力も検討しています。

- ・2) 月1日に予定されている中学生と高校生の交流試合については、全県規模ではなく川崎市内で実施する予定。
- ・運営は高校生が担当し、市内の学校の宣伝もかねて行う。
- ・予算については予備費からの支出を予定し、理事会に諮る。

(5) 県連HPの個人情報削除要請について

- ・過去の大会出場に関し、まだ自分の名前が掲載されているので、削除してほしい、個人が特定できる大会結果ページ等については一定期間が経過した後には削除してほしいという要請があった。
- ・その時点で出来る対応を実施。

〈今後の対応〉

- ・県連の「個人情報保護方針」にもあるように、個人名の削除要望には速やかに対応する。
- ・大会・予選会要項、審査会要項に「氏名などの公表を希望しない場合はご連絡ください」という内容の文言を入れることとする。
- ・一定期間後の削除については、公的な調査にも影響する場合がありますので、県連の都合に合わせていただく。事務局長名で文書により対応を説明、了解された。

(6) 各種大会における映像の編集について

- ・母子大会・東西対抗の動画は事務局で対応を考える
- ・J:COM への取材依頼を検討する。(ニュースで1～2分の映像配信は無料)

(7) 神奈川新聞電子版について 資料 3

- ・神奈川新聞の電子版有料サイトに登録(法人パック 5 アカウント、月 6,600 円(年間 79,200 円))する。

(8) 指定審判員について

- ・8月の審査で八段に昇段した町本省先生、まだ採用されていなかった月岡陽輔先生を指定審判員に推薦する。 → 異議なし
- ・審判員選考委員会にメール決済案件として諮る。 了承済み。理事会に諮る。

(9) 新年会の開催について

- ・新年会開催について、令和8年1月15日(木)18時を仮決定(会場は未定、3か所候補あり)。
- ・予算等につき理事会に諮る。

【報告・確認事項】

(1) 第34回剣道指導者育成中央研修会

- ・10月25日(土)、26日(日)に日本武道館研修センターで開催される上記講習会に小田雅義先生が参加する。

(2) 神奈川県スポーツ優秀選手表彰候補者の推薦について

- ・潮田中学校女子団体を推薦する。

(3) TICADについて 講演内容の説明。

【大会・講習会等予定】

(1) 寛仁親王杯 第24回剣道八段選抜大会について

- ・9月6日(土)東京武道館で開催

(2) 第71回全日本東西対抗剣道大会について

- ・令和7年9月7日(日)いしかわ総合スポーツセンター(石川県)で開催

(3) 第73回全日本剣道選手権大会 神奈川県予選会について

- ・ 9月7日（日）神奈川県立武道館で開催、参加選手66名
- (4) 剣道称号県審査会・剣道称号受審者講習会（座学）について
- ・ 9月13日（土）神奈川県立武道館で開催
 - ・ 錬士受審者60名、教士受審者38名
- (5) 第1回心肺蘇生法講習会について
- ・ 9月13日 称号審査講習会終了後に開催（神奈川県立武道館剣道場）
- (6) パナソニック杯第20回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会について
- ・ 9月14日（日）おおきにアリーナ舞洲（舞洲アリーナ）で開催
- (7) 東京都剣道連盟主催 剣道八段受審者講習会について
- ・ 9月21日（日）東京武道館第二武道場で開催、受講者6名
- (8) 第44回剣道八段受審者研修会について
- ・ 9月27日（土）神奈川県立武道館で開催、受講者133名
 - ・ 講師 松原治先生、小山則夫先生、岡見浩明先生、石原和彦先生、高野力先生、山和良先生、
 - ・ 立会 中田圭介先生、三崎恭裕先生、鈴木雅彦先生、小田雅義先生、原敏之先生、千葉啓伸先生
- (9) 剣道六・七段受審者講習会について
- ・ 9月28日（日）神奈川県立武道館で開催、受講者：六段受審者50名、七段受審者29名
 - ・ 講師 松原治先生、高野力先生、山和良先生、三崎恭裕先生、鈴木雅彦先生、加藤公一先生
- (10) 第79回国民スポーツ大会 剣道競技について
- ・ 9月29日（日）～10月1日（水）湖南省総合体育館（滋賀県湖南市）で開催
 - ・ 総監督 宮崎正裕 派遣コーチ 有馬裕史
 - ・ 成年男子 先鋒 重黒木祐介（警察）次鋒 真田裕行（警察）中堅 野村洋介（警察）副将 小山潤（警察）
大将 織口剛次（警察）
 - ・ 成年女子 先鋒 諸岡温子（警察）中堅 高橋萌子（警察）大将 赤松真枝（相模原市）
 - ・ 少年男子 監督 雨谷武蔵（桐蔭学園）先鋒 鈴木佑（慶應義塾）次鋒 上野幹（東海大相模）中堅 伊藤
壮汰（横浜）副将 塚田隆明（桐蔭学園）大将 坂倉匠（桐光学園）補欠 門屋侑吾（桐光学園）
 - ・ 少年女子 監督 関戸力（関東学院）先鋒 緒方莉愛（桐蔭学園）次鋒 野稲優心（桐蔭学園）中堅 向
井優依（湘南学院）副将 横田さと（桐蔭学園）大将 野稲明心（桐蔭学園）補欠 今里さくら（横浜
隼人）
- (11) 第50回 神奈川県母子剣道大会・神奈川県東西対抗剣道大会について
- ・ 10月13日（月・祝）神奈川立武道館で開催
- (12) 第37回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜2025）について
- ・ 10月18日（土）～20日（月）アテナ工業アリーナメインアリーナ（関市総合体育館）で開催

- ・神奈川県チーム 監督 森川信幸（横須賀）先鋒 鈴木康文（横須賀）次鋒 飯田丈夫（茅ヶ崎市）中堅 鎌田裕巳（茅ヶ崎市）副将 松下泰士（横須賀）大将 長岡俊夫（中郡）

(13) 剣道研究会について

- ・ 11月2日（日）かながわ県民センターで開催 剣道人口問題が主題

(14) かながわシニアスポーツフェスタ 2025 剣道大会について

- ・ 11月8日（土）神奈川県立武道館で開催

(15) 第73回全国青年大会について

- ・ 11月8日（土）～9日（日）東京武道館で開催
- ・ 男子、監督 前川勝（神奈川区）先鋒 小林亮介（厚木）次鋒 宗亮典（保土ヶ谷区）中堅 澤田祐太（金沢区）副将 内田登大（茅ヶ崎市）大将 高野良介（金沢区）
- ・ 女子、監督 千葉三千子（鎌倉）先鋒 上甲怜奈（鶴見区）中堅 瀬川千賀子（鶴見区）大将 榎本琴音（横須賀）

(16) 剣道 六・七・八段審査会（愛知県・東京都）について

- ・ 愛知審査会：11月8日（土）七段、11月9日（日）六段、枇杷島スポーツセンターで開催
- ・ 東京審査会：11月14日（金）七段、11月15日（土）六段、エスフォルタアリーナ八王子で開催、11月20日（木）、21日（金）八段、日本武道館で開催

(17) 剣道（審判法）講習会の開催について 資料 4

- ・ 11月15日（土）神奈川県立武道館で開催

(18) 剣道四・五段審査会の開催について

- ・ 11月23日（日）神奈川県立武道館で開催

(19) 第72回神奈川県剣道大会の開催について 資料 5

- ・ 12月7日（日）神奈川県立武道館で開催
- ・ 審判長の再考を検討する。
- ・ 監督・選手の資格の「神奈川県に在住または在勤の者とする。」を削除する。
理由:出場者は会員に限定されている → 承認
- ・ 特練の選手の演武を依頼する。
- ・ 昼休憩を30分とる。
- ・ 神奈川新聞社を来賓招待する。
- ・ 開会式で潮田中学の女子団体優勝の紹介を行う。

【大会結果】

(1) 第79回国スポ関東ブロック大会剣道競技

- ・ 8月23日（土）ALSOK ぐんま武道館（群馬県）
- ・ 成年女子第3位、少年男子第1位、少年女子第3位となり9月29日（月）～10月1日（水）滋賀

県で開催される国民スポーツ大会に、成年男子とともに、4種別で出場する。

(2) 第55回全国中学校剣道大会

- ・ 8月23日(土)～25日(月) 早水公園体育文化センター(宮崎県)で開催
- ・ 潮田中学校が女子団体優勝、男子団体三位
- ・ 優秀選手：松脇さくら(潮田中)、村松央一朗(潮田中)
- ・ 女子個人：高山華(戸塚中)、高鍋萌(潮田中)は2回戦敗退
- ・ 男子個人：笠井新太(都田中)は4回戦敗退、池田瑞希(潮田中)は3回戦敗退

(3) 第69回神奈川県青少年剣道選手権大会 資料 6

- ・ 8月30日(土) 神奈川県立武道館で開催、結果は資料6を参照。

【審査会結果】

① 剣道審査会合格者

- ・ 8月30日(土)、31日(日) 本山製作所青葉アリーナ(青葉体育館)で開催
- ・ 七段に16名、六段に11名が合格。

5.その他

(1) 四・五段審査での修業年限短縮措置を全剣連にお願いすることについて

- ・ 四・五段の受審者で65歳以上の者に限り、前段取得後2年以上を経過していれば受審可能となるように、全剣連にお願いすることにする。

※次回の幹部会議は、10月2日(木)13時～ 神奈川県立武道館

※理事会(支部理事・支部長合同)は、10月9日(木)18時～ かながわ県民センター

6.閉会